

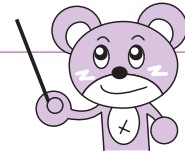
分別した資源ごみ こうやってリサイクルされています!!

天ぷら油編

使用後の天ぷら油は捨てないでリサイクルに…

使い終わった天ぷら油、みなさんはどうしていますか？
炒め物などに再利用している人もいれば、薬品で固めたり、新聞紙などに染み込ませて捨てたりしている人もいます。
でも、ちょっと待って！市では、天ぷら油（廃食油）を“資源ごみ”として回収し、軽油の替わりとなる燃料（BDF）に再生して公用車に使っています。

面倒かもしれないけど、捨てないで“資源ごみ”の日に出してくださいね。



生まれ変わるまで

1 ごみなどを取り除きます。
(沈殿・脱水)

2 化学薬品を加え、必要なものを分離し、きれいにします。

3 高温（80℃）で脱水処理し、ろ過後BDFになります。

BDFとは？

Bio = バイオ
Diesel = ディーゼル
Fuel = 燃料
の略称です。



廃食用油再生センター（農業公園）

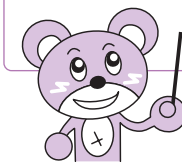
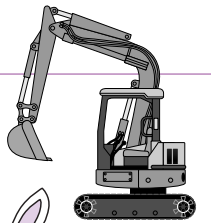


左：BDF 右：回収した天ぷら油

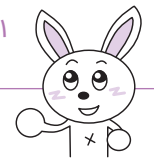
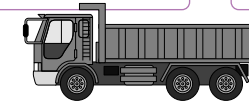
市のダンプや重機の燃料になっている天ぷら油

BDFは、あじさいクリーンセンター、農業公園のダンプや重機の燃料に使っています。

通常の軽油の場合、排気ガスの中には酸性雨の原因になる硫酸化合物が含まれていますが、BDFの場合はほとんど含まれていないそうです。



排気ガスから天ぷらを揚げたときのような臭いがします。



軽油の替わりとなる燃料“BDF”とは？

石油から作られた軽油に対し、BDFは廃食油から作られたエネルギーです。もともと原料が植物なので、植物が成長するときに二酸化炭素を吸収します。ですから燃料として使っても二酸化炭素を増やさないため、地球環境にもやさしいといわれています。

天ぷら油から石けんを作っている業者や自治体もあります。



平成20年度の天ぷら油回収量

員弁町	1,0350
北勢町	2,5450
大安町	1,7150
藤原町	6,2500
合計	11,5450

地域によって回収量に差が出ています
平成19年度の回収量は、約13,0000ありましたが、回収量は減ってきています。回収にご協力をお願いします。



お願いします…

- 回収する油は食用の植物油に限ります。
(動物性油は固まってしまうためBDFには適していません)
- 使い終わった天ぷら油は、軽くこして(天かすを取る)からお出してください。
- 資源ごみの日には“ポリタンクとロート”を自治会で設置していただきますので、写真のように油を注入してください。



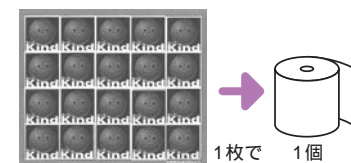
キントシールを終了します

これまでキントシールによる桑員マイバッグ運動を実施してきましたが、昨年10月1日からスタートした「レジ袋無料配布中止」で、マイバッグの持参率が80%を超えるようになったことから、キントシールを終了します。

キントシールの配布
12月末まで
(桑員マイバッグ運動協力店)



景品との交換
平成22年3月末まで
(各庁舎総合窓口課)



お早め!
「貯キントカード」1枚で、再生トイレトペーパー1個と交換

問北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748